

長崎県公立学校管理職員研修（小・中・義務教育学校）実施要項

1 目的

長崎県内の公立小・中・義務教育学校（以下「小・中学校」という）に勤務する校長・教頭及び管理職員名簿登載者に対して、「長崎県 校長等としての資質の向上に関する指標」に基づき、学校経営及び今日的な教育課題に関する研修を計画的に実施し、本県管理職員に求められる資質の向上を図ることを目的とする。

2 内容

次に示す研修を行い、詳細は別表のとおりとする。なお、選択研修の希望については、別紙の選択講座申込要領に基づき行う。

- (1) 登録者研修（集合研修）
- (2) 任用前研修（選択研修：必修）
- (3) 新任研修（集合研修）
- (4) 2年目研修（選択研修：必修）
- (5) 3年目以降の研修（選択研修：推奨）

＊推奨とは2年に1回を目安とする。

3 対象

- (1) 登録者研修については、名簿登載年度に参加する。なお、行政勤務の場合は希望者とする。
- (2) 任用前研修については、登録者研修参加後、任用されるまでの各年度に参加する。
- (3) その職としての学校勤務年数に応じて研修に参加するものとする。その職として格付けされた行政勤務年数は除く。
- (4) 長崎大学教育学部附属小・中学校に勤務する校長・教頭及び管理職員名簿登載者も対象とするが、参加については所属長の判断による。

4 免除・延期

- (1) その職1年経過後、行政勤務を経て再びその職として学校に異動した場合は、2年目研修を免除する。
- (2) 研修参加年度に教職大学院、在外教育施設等へ派遣されている場合は、当該年度の研修を免除する。
- (3) 一定の事由により参加ができない場合（一部参加できない場合も含む）は、個別に協議する。

5 旅費

- (1) 登録者研修については、別途通知する。
- (2) 新任・2年目研修については、県教育センターが負担する。ただし、県費負担教職員以外及び長崎市、佐世保市の研修参加者については、学校配当予算とする。
- (3) 任用前・3年目以降の研修については、学校配当予算とする。

別表

長崎県公立学校管理職員研修（小・中学校）概要

【教頭】

登録者研修 【対面】	○新任教頭としての基本的な職務についての講義等 ・講話「管理職員としての心構え」 ・講義「服務規律・危機管理・人権教育・地域連携」	1 日間
任用前研修	○指標に基づいた自己課題に応じて県教育センター講座等を選択して参加(必修)	1 講座 (年間)
新任研修 【対面】	○学校経営、今日的課題についての講義・演習 ・前期 「地域連携・危機管理・人事評価」ほか ・後期 「特別支援教育・教育法規」「課題協議・講話」「講演」	3 日間 前期(1 日間) ・ 5 / 1 (木) 後期(2 日間) ・ 9 / 1 7 (水) 1 8 (木)
2 年目研修	○指標に基づいた自己課題に応じて県教育センター講座等を選択して参加(必修)	1 講座 (年間)
3 年目以降	○指標に基づいた自己課題に応じて県教育センター講座等を選択して参加(推奨)	1 講座 (年間)

【校長】

登録者研修 【対面】	○新任校長としての基本的な職務についての講義等 ・講話「管理職員としての心構え」 ・講義「服務規律・学力向上・危機管理・人権教育」	1 日間
新任研修 【対面】	○学校経営、今日的課題についての講義・演習 ・前期「特別支援教育・人事管理・危機管理・健康教育・会計処理」 「マネジメント研修」 ・後期「学力向上」「課題協議・講話」	3 日間 前期(2 日間) ・ 6 / 1 0 (火) 1 1 (水) 後期(1 日間) ・ 1 1 / 4 (火)
2 年目研修	○指標に基づいた自己課題に応じて県教育センター講座等を選択して参加(必修)	1 講座 (年間)
3 年目以降	○指標に基づいた自己課題に応じて県教育センター講座等を選択して参加(推奨)	1 講座 (年間)

※県教育センター研修の講座形態について

対 面：県教育センターにおいて、研修期日に参加する研修

※事前事後の動画視聴があるものを含む

リアルタイム・オンライン：所属校等において、研修期日に県教育センターとオンラインでつなぎ、リアルタイムで参加する研修

※事前事後の動画視聴があるものを含む

オンデマンド：所属校等において、期間内に県教育センターが配信する動画を視聴するなどして参加する研修

選 択 講 座 申 込 要 領

1 申込み対象研修及び選択可能講座

対象研修	選択可能講座
任用前研修（必修）	県教育センターリレー講座
2年目研修（必修）	県教育センターリレー講座・長崎大学公開講座
3年目以降の研修（推奨）	

2 申込み方法

以下のURLから「全国教員研修プラットフォーム（Plant）」にアクセスし、研修参加申込みを行う。

URL：<https://plant.nits.go.jp/>

3 申込み手順

- （１）Plant に個人アカウントでログインする。
- （２）研修検索から、管理職研修選択研修の講座を検索する。
 - ①「研修検索」タグをクリックする。
 - ②「実施・運営者」の欄に「長崎県教育センター」と入力する。
 - ③「研修コード」の欄に「管理職研修（選択研修）」と入力する。
 - ④「検索」ボタンをクリックする。
- （３）下に管理職研修選択研修の一覧が表示されるので、希望する講座に申し込む。

4 留意点

- （１）講座を選択する際は、行事等と重ならないように確認する。
- （２）研修参加決定後に変更が必要な場合は、県教育センター（教育支援研修課）に連絡する。
- （３）選択番号４、５、１４の講座の申込み締切りは令和７年４月１１日（金）、その他の講座については令和７年４月１８日（金）までとする。

令和7年度 管理職員研修 選択講座一覧表（任用前・2年目・3年目以降）

1 県教育センターが実施するリレー講座

- (1) 県教育センターが実施するリレー講座は、それぞれ三つの受講形態があります。その中から一つ選択して受講することになります。内訳は次のとおりです。
- ・ 対面 …県教育センターにおいて、研修期日に受講する研修
 - ・ リアルタイム・オンライン …所属校等において、研修期日に県教育センターとオンラインでつなぎ、リアルタイムで受講する研修
 - ・ オンデマンド …所属校等において、指定した期間内に県教育センターが配信する動画を視聴するなどして受講する研修
- ※オンデマンド型の視聴期間については、受講者へ改めてお知らせします。
- ※講座の型に変更が生じた場合は、その時点で県教育センターから受講希望者に連絡いたします。
- (2) リレー講座のタイトルは、今後変更になることがあります。
- (3) 来所の際は、できる限り公共交通機関の利用をお願いします。

リレー講座の講師・タイトルについては調整中です。

選択番号	期日	講座番号	指標	リレー講座タイトル等
1	令和7年8月20日（水） 14:30～16:30	リレー講座1	B E G	ステップアップセミナー講演 演題：未定 講師：荒瀬 克己 氏（NITS 独立行政法人教職員支援機構 理事長）
2	令和7年11月4日（火） 14:00～16:00	リレー講座2	B E G	新任校長研2 講演 演題：未定 講師：未定
3	令和8年2月中旬予定 14:00～16:00	リレー講座3	B E G	センター研究発表会 講演 演題：未定 講師：未定

2 長崎大学（教職大学院管理職養成コース）会場の公開講座

- (1) 受講前に長崎大学大学院教育学研究科のホームページ（<https://www.gedu.nagasaki-u.ac.jp/news/>）で講義場所等を必ず確認してください。
講師の都合等により日時が変更となる可能性があります。その際はホームページで情報提供いたしますので、必ず確認してください。
- (2) 講師の役職等は令和6年度現在のものです。人事異動等により、講師・所属が変更となる場合があります。
- (3) 選択番号4～13の講座は、長崎大学教育学部教員による講義です。主に理論的視点から学校教育を読み解く内容となっており、当該科目は「長崎県 校長等としての資質の向上に関する指標」の主にA、B、C、Dに該当する内容です。
- (4) 選択番号14～31の講座は、長崎県内の実践者等を招へいし、実践的視点から学校教育を読み解く講義です。当該科目は「長崎県 校長等としての資質の向上に関する指標」の全項目を網羅する内容となっています。
- (5) 受講後に「振り返りレポート」を作成し、講義窓口担当者へ提出していただきます。詳細は講義当日にお知らせします。

選択 番号	期日	講座番号	指標	公開講座タイトル等
4	令和7年4月18日（金） 14:30～16:00	リーダーの 役割と資質	第2回	A B C D 「いじめ・不登校をめぐる課題と対応」 山岸 利次 氏（長崎大学教育学部 准教授）
5	令和7年4月25日（金） 14:30～16:00		第3回	A B C D 「学校における「ケア」の理論」 山岸 利次 氏（長崎大学教育学部 准教授）
6	令和7年5月9日（金） 14:30～16:00		第4回	A B C D 「子どもの貧困と虐待 ―学校・教師に何ができるか―」 小西 祐馬 氏（長崎大学教育学部 准教授）
7	令和7年5月16日（金） 14:30～16:00		第5回	A B C D 「ヤングケアラー ―学校・教師に何ができるか―」 小西 祐馬 氏（長崎大学教育学部 准教授）
8	令和7年5月23日（金） 14:30～16:00		第6回	A B C D 「教育相談をめぐる課題と展望」 内野 成美 氏（長崎大学教育学部 教授）
9	令和7年5月30日（金） 14:30～16:00		第7回	A B C D 「発達障害の理解と支援―特に行動面および対人面の支援ニーズについて―」 高橋 甲介 氏（長崎大学教育学部 准教授）
10	令和7年6月6日（金） 14:30～16:00		第8回	A B C D 「特別な教育的ニーズに応じる学校のシステムづくり」 高橋 甲介 氏（長崎大学教育学部 准教授）
11	令和7年6月13日（金） 14:30～16:00		第9回	A B C D 「学習障害への理解と支援」 荻布 優子 氏（長崎大学教育学部 准教授）
12	令和7年6月20日（金） 14:30～16:00		第10回	A B C D 「子どものストレスマネジメント教育をめぐる課題と展望」 荻布 優子 氏（長崎大学教育学部 准教授）
13	令和7年7月4日（金） 14:30～16:00		第12回	A B C D 「教育DXにむけたリーダーの視点と展望」 倉田 伸 氏（長崎大学教育学部 准教授）
14	令和7年4月23日（水） 14:30～16:00	学校経営 総論	第3回	A～M 「教育行政における人事施策」 岩坪 正裕 氏（県教育庁高校教育課 人事管理監）
15	令和7年5月7日（水） 14:30～16:00		第4回	A～M 「長崎県の特別支援教育」 近藤 亮二 氏（県教育庁特別支援教育課 課長）
16	令和7年5月14日（水） 14:30～16:00		第5回	A～M 「組織における多様性―男女共同参画の視点から―」 松尾 由美 氏（長崎県庁 県民生活環境部 長崎県男女参画・女性活躍推進室長）
17	令和7年5月21日（水） 14:30～16:00		第6回	A～M 「地域と学校の連携・協働」 本村 英治 氏（南島原市立口之津小学校 校長）
18	令和7年5月28日（水） 14:30～16:00		第7回	A～M 「PTAと学校経営」 東川 勝哉 氏（元日本PTA全国協議会 会長）
19	令和7年6月11日（水） 14:30～16:00		第9回	A～M 「小学校における学校経営」 山本 高靖 氏（長崎市立上長崎小学校 校長）
20	令和7年6月18日（水） 14:30～16:00		第10回	A～M 「中学校における学校経営」 種吉 信二 氏（長崎市立長崎中学校 校長）
21	令和7年6月25日（水） 14:30～16:00		第11回	A～M 「高等学校における学校経営」 立木 貴文 氏（長崎県立長崎東高等学校 校長）
22	令和7年7月2日（水） 14:30～16:00		第12回	A～M 「特別支援学校における学校経営」 中村 由美 氏（長崎県立立川棚特別支援学校 校長）
23	令和7年7月9日（水） 14:30～16:00		第13回	A～M 「キャリア（養護教諭）を活かした学校経営」 森 史江 氏（諫早市立森山東小学校 校長）
24	令和7年7月16日（水） 14:30～16:00		第14回	A～M 「学校事務からみた学校経営」 宇土 宏 氏（長崎市立桜馬場中学校 事務主幹）
25	令和7年10月20日（月） 14:30～16:00	学校危機 管理の理 論と実践	第3回	A～M 「学校経営における危機管理」 山川 雅弘 氏（県教育庁児童生徒支援課 参事）
26	令和7年10月27日（月） 14:30～16:00		第4回	A～M 「警察・福祉との連携」 鍬塚 博紀 氏（県教育庁児童生徒支援課 課長補佐）
27	令和7年11月4日（火） 14:30～16:00		第5回	A～M 「体罰・ハラスメント（不祥事全般、働き方改革等）」 谷口 昭文 氏（県教育庁義務教育課 人事管理監）
28	令和7年11月10日（月） 14:30～16:00		第6回	A～M 「子どもの貧困」 山本 倫子 氏（長崎県こどもの貧困対策統括コーディネーター）
29	令和7年11月17日（月） 14:30～16:00		第7回	A～M 「リーガルマインドからみた学校教育」 鷲見 賢一 氏（長崎県弁護士会 弁護士）
30	令和7年12月1日（月） 14:30～16:00		第8回	A～M 「いじめ・不登校対応における危機管理」 原 昌紀 氏（県教育センター教育相談班 指導主事）

長崎県 校長等としての資質の向上に関する指標（令和5年3月改訂）	職名	校種
	校長等	小中高特

求められる姿 視 点		学校の最高責任者として、校務をつかさどり、所属職員を監督し、学校経営を展開する	管理職員として取り組むべき課題
(1) 高い 識見	A 教育理念	人間理解と深い洞察に基づく教育理念をもち、その理念の実現に向けた学校経営をすることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○研修と自らの経験を踏まえた教育理念の形成 ○人間理解と洞察力の深化 ○教育理念を踏まえた学校経営の構想
	B 社会的視野	時代の変化をとらえ、国内外の動向及び教育行政施策等の内容を理解するとともに、学校経営に反映させることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○国内外の動向の把握 ○国や県・市町等の教育施策等の理解 ○教育施策等に応じた取組の構想と実践
	C 児童生徒への愛情 教職に対する使命感	管理職員としての深い自覚のもと、県民、地域住民、保護者、児童生徒等の願いや期待を受け止めた学校経営をすることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○管理職員の職務の理解 ○県民、地域住民、保護者、児童生徒等の願いや期待の把握
	D 長崎県への郷土愛	地域を理解し、その実態を踏まえた、「夢・憧れ・志」を育む教育活動を展開することを通して、ふるさと長崎県に誇りをもつ児童生徒を育成することができる	<ul style="list-style-type: none"> ○「夢・憧れ・志」を育む取組についての理解 ○地域の実態を踏まえた自校ならではの取組の構想と実践
(2) 組織 マネジメント	E ビジョンや目標の 設定と検証	自校の現状を適切に分析したうえで、ビジョンや目標を設定するとともに、その実現に向け、教職員のよさを生かした組織的運営や進捗管理をするとともに、その検証を行い、改善を図ることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○自校の実態の分析 ○ビジョンや目標の設定とPDCAサイクルでの実践 ○教職員の適材適所の配置
	F サービス管理	遵守すべき服務について、適切に指導監督をし、コンプライアンスを徹底するとともに、個々の心身の健康に配慮した学校経営をすることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○職務上、身分上の監督の意義や在り方の理解 ○不祥事背景の理解と根絶のための不断の取組 ○働きやすい職場の条件整備 ○関係法規、学習指導要領、通知・通達等の理解
	G 人材育成	個々の教職員を適正に評価し、その能力や課題に応じて指導するとともに、次代の教育を担う人材を発掘し、計画的に育成することができる	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の教職員の能力や課題の適正な把握 ○授業や校務分掌等、日々の指導の実践 ○教職員への教育理念の継承
	H ファシリテーション 保護者・地域・関係 機関等との連携	「地域とともにある学校」の実現に向け、保護者や地域住民等の意見や要望等を把握し、的確に対処するとともに、学校内外の関係者の教育活動への参加を促し、外部人材を適切に活用しながら学校の教育力を高めることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域とともにある学校」の理念の理解 ○保護者や地域住民等の意見や要望等の把握と教育活動への参加促進 ○様々な広報手段の開拓と活用 ○児童福祉等の関係機関や地域団体等との連携
	I 危機管理	学校安全の確保に向けて、学校安全計画や危機管理マニュアル等を整備し、危機の未然防止と早期発見・早期対応の取組を組織的に行うことができる	<ul style="list-style-type: none"> ○自校の実態に応じた学校安全計画や危機管理マニュアルの作成 ○学校安全の確保に向けた各方策の教職員への周知と指導 ○いじめ、体罰及びハラスメントの未然防止
	J 事務管理	学校経営方針に基づき、効率的・効果的な予算編成や事務処理をするとともに、適正に執行管理をすることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○学校経営方針に基づく予算編成と執行 ○ICT機器の活用等効率的・効果的な事務処理体制の構築 ○働き方改革やコスト意識等に関する教職員への指導 ○組織的な管理、監査による適正な執行管理
	K 教育課程の管理	日々の授業実践や校内研修を充実させ、PDCAサイクルに基づくカリキュラム・マネジメントや主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、「社会に開かれた教育課程」を実現させることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○「社会に開かれた教育課程」の理念の理解 ○研修環境の整備及び校内研修に係る指導助言 ○全校的なPDCAサイクルによるカリキュラム・マネジメント ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた不断の授業改善
	L 生徒指導 教育相談	生徒指導上の諸問題や、児童生徒の悩み等に対応できる教職員の能力を高め、校内の指導・支援体制を機能させるとともに、必要に応じて関係機関との連携を適切に図ることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導上の自校の課題の把握 ○教職員の児童生徒理解力と対応力の向上 ○校内指導・支援体制の強化 ○児童福祉や警察、医療等の関係機関との連携 ○「学校いじめ防止基本方針」の定期的な見直しと実践
	M 特別支援教育	小中高 特別支援教育の理念に基づき、個々の状況や教育的ニーズに沿った教職員の対応力を向上させるとともに、すべての児童生徒にとって望ましい教育活動を展開できる体制を機能させることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の理念の理解 ○個々の障害の状況や教育的ニーズに沿った対応の推進 ○「インクルーシブ教育システム」の構築 ○福祉や医療等の関係機関及び特別支援学校との連携
		特 特別支援教育の理念に基づき、個々の状況や教育的ニーズに沿った教職員の専門的な対応力を向上させるとともに、地域における特別支援教育のセンターとしての役割を果たすことができる	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の理念の理解 ○個々の障害の状況や教育的ニーズに沿った専門的な対応の推進 ○「インクルーシブ教育システム」の構築 ○福祉や医療等の関係機関及び小・中・高等学校との連携 ○特別支援教育のセンター的機能の発揮
	N 教育に関する アセスメント	様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する情報について収集・整理・分析し共有することができる	<ul style="list-style-type: none"> ○データ収集・整理・分析・共有 ○エビデンスに基づいた客観的判断と経験に基づいた専門的判断による意思決定